

# 2009年3月期第2四半期 連結決算の概要

2008年10月30日

株式会社日立製作所

**HITACHI**  
Inspire the Next



2009年3月期第2四半期 連結決算の概要  
2008年10月30日



## Contents

1. 2009年3月期第2四半期連結決算の概要
2. 2009年3月期連結決算の見通し
3. 事業部門別状況

2009年3月期第2四半期 連結決算の概要  
2008年10月30日



## Contents

1. 2009年3月期第2四半期連結決算の概要
2. 2009年3月期連結決算の見通し
3. 事業部門別状況

## ●2009年3月期第2四半期連結累計期間 業績ハイライト

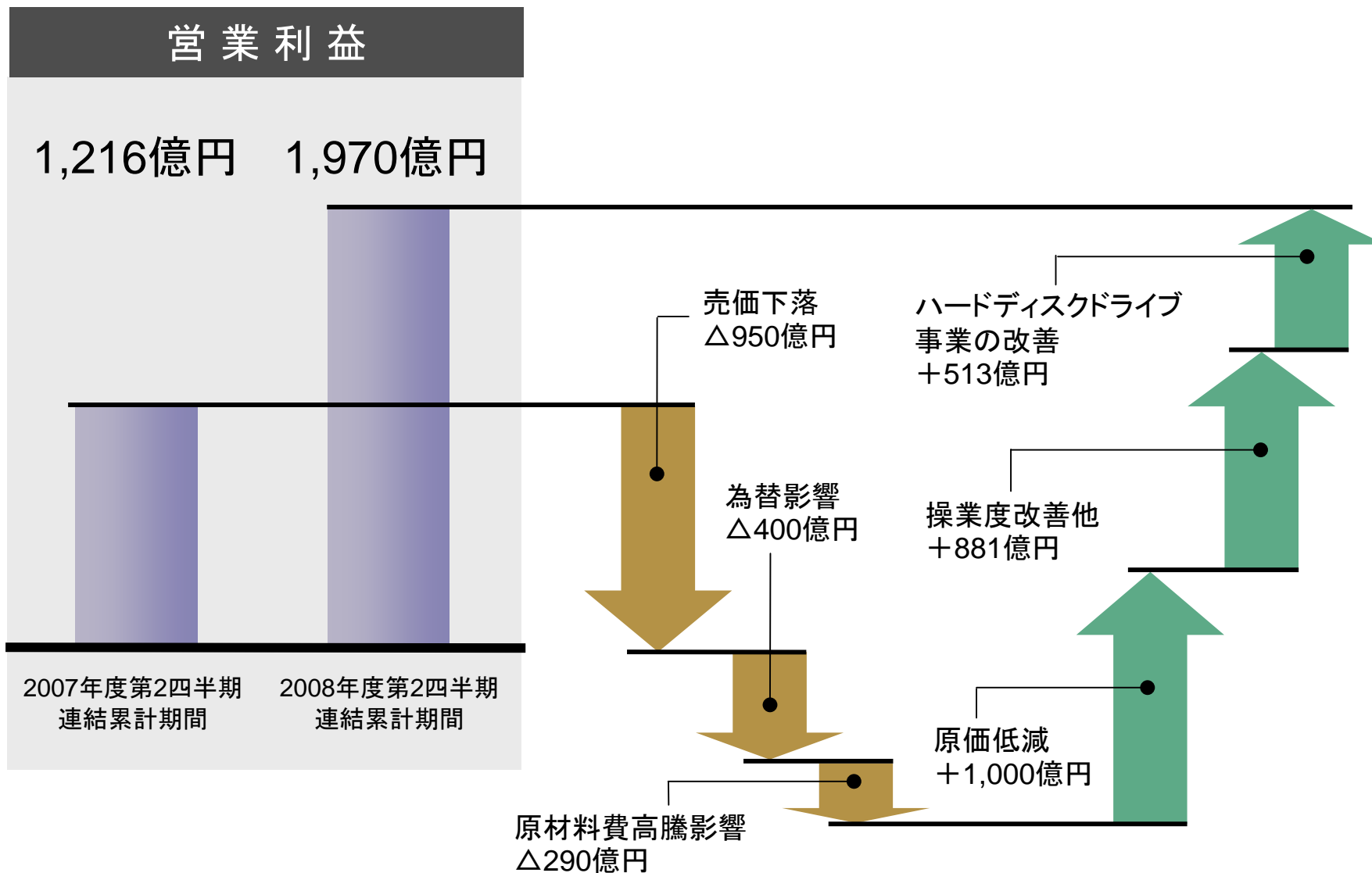
売上高	前年同期比1%増収 ・デジタルメディア・民生機器部門等の落ち込みを、 情報通信システム部門、電力・産業システム部門の増加がカバー
営業利益	前年同期比754億円の増益 (2008年5月13日時点の予想比720億円の増益) ・ハードディスクドライブ事業が2008年3月期第4四半期に引き続き、 当第2四半期連結累計期間も黒字 ・デジタルメディア製品の赤字が縮小
営業外損益	・プラズマガラスパネル部材製造設備等の減損損失を計上 (約400億円) ・株価下落による有価証券評価損失を計上(約100億円)
四半期純利益	前年同期比272億円の増益 (黒字化、2008年5月13日時点の予想どおり)
フリー・キャッシュ・フロー	41億円の黒字(前年同期比505億円の改善)

## 1-2. 比較連結損益計算書

単位：億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	52,804	53,105	101%
営業利益	1,216	1,970	162%
税引前四半期純利益	1,360	1,381	102%
法人税等	1,001	738	74%
少数株主持分控除前四半期利益	359	642	179%
少数株主持分	490	500	102%
四半期純利益(損失)	△130	141	-

# 1-3. 営業利益の主な増減要因(前年同期比)



## 1-4. 国内・海外売上高

単位：億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	構成比	2008年度 第2四半期 連結累計期間	構成比	前年 同期比
国内売上高	29,954	57%	30,082	57%	100%
海外売上高	22,849	43%	23,023	43%	101%
うちアジア	10,282	19%	10,752	20%	105%
うち北米	5,201	10%	4,842	9%	93%
うち欧州	5,069	10%	5,082	10%	100%
うちその他の地域	2,296	4%	2,345	4%	102%
<b>合 計</b>	<b>52,804</b>	<b>100%</b>	<b>53,105</b>	<b>100%</b>	<b>101%</b>

海外売上高比率 前年同期と同じ43%

## 1-5. 比較連結貸借対照表

単位：億円

	2007年度末	2008年度 第2四半期末	比較増減
総資産	105,308	103,232	△2,076
負債合計	72,177	69,930	△2,246
うち有利子負債	25,315	24,776	△538
少数株主持分	11,425	11,720	295
株主資本	21,706	21,580	△125
株主資本比率	20.6%	20.9%	0.3ポイント改善
D/Eレシオ (少数株主持分含む)	0.76倍	0.74倍	0.02ポイント改善



## 1-6. 比較連結キャッシュ・フロー

単位：億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
営業活動に関する キャッシュ・フロー	3,785	2,469	△1,316
投資活動に関する キャッシュ・フロー	△4,249	△2,427	1,821
フリー・キャッシュ・フロー	△463	41	505
財務活動に関する キャッシュ・フロー	△305	△669	△363

## 1-7. 連結設備投資・連結研究開発費

### (1) 連結設備投資

単位:億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
連結設備投資	4,995	4,124	83%
うち一般用	2,749	2,207	80%
うち営業用	2,246	1,916	85%

### (2) 連結研究開発費

単位:億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
連結研究開発費	2,088	2,106	101%
売上高比率	4.0%	4.0%	-

## 1-8. 事業部門別売上高

単位:億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
情報通信システム	12,545	12,817	102%
電子デバイス	6,433	6,411	100%
電力・産業システム	15,983	16,938	106%
デジタルメディア・民生機器	7,280	6,955	96%
高機能材料	9,335	9,211	99%
物流及びサービス他	6,187	5,749	93%
金融サービス	2,223	1,899	85%
消去又は全社	△7,183	△6,879	-
<b>合 計</b>	<b>52,804</b>	<b>53,105</b>	<b>101%</b>

## 1-9. 事業部門別営業損益

単位:億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
情報通信システム	124	721	579%
電子デバイス	258	285	111%
電力・産業システム	636	635	100%
デジタルメディア・民生機器	△508	△266	-
高機能材料	646	689	107%
物流及びサービス他	107	116	108%
金融サービス	129	74	58%
消去又は全社	△177	△285	-
<b>合 計</b>	<b>1,216</b>	<b>1,970</b>	<b>162%</b>

2009年3月期第2四半期 連結決算の概要  
2008年10月30日



## Contents

1. 2009年3月期第2四半期連結決算の概要
2. 2009年3月期連結決算の見通し
3. 事業部門別状況

## 2-1. 2009年3月期の見通し

単位:億円

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	前期比
売上高	112,267	109,000	97%
営業利益	3,455	4,100	119%
税引前当期純利益	3,247	3,100	95%
少数株主持分控除前利益	526	1,200	228%
当期純利益(損失)	△581	150	-

## 2-2. 事業部門別売上高の見通し

単位:億円

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	前期比
情報通信システム	27,611	26,300	95%
電子デバイス	12,935	12,500	97%
電力・産業システム	35,681	36,500	102%
デジタルメディア・民生機器	15,046	14,300	95%
高機能材料	18,750	18,300	98%
物流及びサービス他	12,714	11,200	88%
金融サービス	4,454	4,000	90%
消去又は全社	△14,926	△14,100	-
合計	112,267	109,000	97%

## 2-3. 事業部門別営業損益の見通し

単位:億円

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	前期比
情報通信システム	1,161	1,730	149%
電子デバイス	540	430	80%
電力・産業システム	1,384	1,570	113%
デジタルメディア・民生機器	△1,099	△550	-
高機能材料	1,410	1,200	85%
物流及びサービス他	278	220	79%
金融サービス	254	200	78%
消去又は全社	△475	△700	-
合計	3,455	4,100	119%



2009年3月期第2四半期 連結決算の概要  
2008年10月30日



## Contents

1. 2009年3月期第2四半期連結決算の概要
2. 2009年3月期連結決算の見通し
3. 事業部門別状況

## 3-1. 情報通信システム部門(1)

### (1) 事業の状況

単位: 億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	12,545	12,817	102%	26,300	95%
ソフトウェア／サービス	5,948	6,107	103%	12,500	96%
ハードウェア	6,597	6,710	102%	13,800	95%
営業損益	124	721	579%	1,730	149%
ソフトウェア／サービス	377	462	123%	1,080	100%
ハードウェア	△253	259	-	650	774%

### (2) 2008年度第2四半期連結累計期間の状況

#### ● ソフトウェア／サービス 増収・増益

- ・金融機関向けを中心にシステムインテグレーションが増収
- ・アウトソーシング事業やコンサルティング事業が増収
- ・売上増加やプロジェクトマネジメントの強化により増益

#### ● ハードウェア 増収・黒字化

- ・通信ネットワークやATM(現金自動取引装置)が増収
- ・ハードディスクドライブが構造改革の効果により黒字化
- ・通信ネットワークが増益

## 3-1. 情報通信システム部門(2)

### (3) ハードディスクドライブ事業の状況

単位: M\$

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2007年度 第3四半期	2008年度 第3四半期(速報)	前年 同期比
	2007年1-6月	2008年1-6月		2007年7-9月	2008年7-9月	
売上高	2,479	2,845	115%	1,450	1,477	102%
営業損益	△323	118	-	△58	85	-

### (4) ハードディスクドライブ事業の2008年7-9月期の状況

#### ● 2007年度第4四半期以降、4四半期連続黒字

- ・ヘッドおよびメディアを中心とした大幅な原価低減
- ・競争力ある新製品のタイムリーな市場投入と製品構成の最適化

## 3-2. 電子デバイス部門

### (1) 事業の状況

単位: 億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	6,433	6,411	100%	12,500	97%
営業利益	258	285	111%	430	80%

### (2) 2008年度第2四半期連結累計期間の状況

#### ●日立ハイテクノロジーズ 減収・減益

- ・欧州向け医用分析装置が好調
- ・半導体関連製造装置の需要減により減収・減益

#### ●ディスプレイ 増収・黒字化

- ・中小型液晶への経営資源の集中
- ・高付加価値製品市場を中心に中小型IPS液晶が拡大

### 3-3. 電力・産業システム部門

#### (1) 事業の状況

単位: 億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	15,983	16,938	106%	36,500	102%
営業利益	636	635	100%	1,570	113%

#### (2) 2008年度第2四半期連結累計期間の状況

##### ● 電力事業 増収・増益

- ・従来より環境負荷を軽減できる石炭火力発電設備の需要が海外を中心に拡大し、増収
- ・売上増加に伴い増益

##### ● 自動車機器事業 減収

- ・自動車市場の低迷に伴い減収

##### ● 日立建機 増収

- ・中国などの海外事業で増収

## 3-4. デジタルメディア・民生機器部門

### (1) 事業の状況

単位: 億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	7,280	6,955	96%	14,300	95%
営業損失	△508	△266	-	△550	-

### (2) 薄型テレビ事業の状況

	2007年度 第2四半期連結 累計期間	2008年度 第2四半期連結 累計期間	2009年3月期(見通し)
プラズマテレビ 出荷台数	39万台	32万台	65万台
液晶テレビ 出荷台数	31万台	33万台	85万台

### (3) 2008年度第2四半期連結累計期間の状況

#### ●売上高: 減少

- ・薄型テレビが販売チャネルの絞込みにより販売台数が減少、価格下落も影響し減収
- ・ビデオカメラの海外事業の縮小による減収
- ・空調機器が伸長

#### ●営業損失: 改善

- ・事業構造改革施策の効果による薄型テレビ事業の赤字縮小

### 3-5. 高機能材料部門／物流及びサービス他部門／金融サービス部門

#### (1) 高機能材料部門の状況

単位：億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	9,335	9,211	99%	18,300	98%
営業利益	646	689	107%	1,200	85%

#### (2) 物流及びサービス他部門の状況

単位：億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	6,187	5,749	93%	11,200	88%
営業利益	107	116	108%	220	79%

#### (3) 金融サービス部門の状況

単位：億円

	2007年度 第2四半期 連結累計期間	2008年度 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比	2009年3月期 (見通し)	前期比
売上高	2,223	1,899	85%	4,000	90%
営業利益	129	74	58%	200	78%

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- 市場における製品需給の変動および価格競争の激化  
(特に情報通信システム部門、電子デバイス部門およびデジタルメディア・民生機器部門)
- 新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当会社および子会社の能力
- 急速な技術革新  
(特に情報通信システム部門、電子デバイス部門およびデジタルメディア・民生機器部門)
- 為替相場変動(特に円/ドル、円/ユーロ相場)
- 原材料価格の高騰
- 製品需給、為替相場変動および原材料価格高騰に対応する当会社および子会社の能力
- 主要市場(特に日本、アジア、米国およびヨーロッパ)における経済・社会状況および貿易規制等各種規制
- 自社特許の保護および他社特許の利用の確保  
(特に情報通信システム部門、電子デバイス部門およびデジタルメディア・民生機器部門)
- 当社、子会社または持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- 製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- 事業構造改善施策の実施
- 製品開発等における他社との提携関係
- 資金調達環境(特に日本)
- 日本の株式相場変動



**HITACHI**  
Inspire the Next 